

ソーシャルワーク演習

[演習] 第3学年 通年 選択 2単位

- 《履修上の留意事項》1. ソーシャルワーク実習 ・実習指導 を履修する学生は、必ず履修すること。
 2. ソーシャルワーク実習 履修生は、ソーシャルワーク演習 の単位を修得済みであっても、当該年度に本科目を受講(聴講)する必要がある。
 3. ソーシャルワーク実習 に向けた重要な前提科目であるため、前期に7割以上の出席していない場合は、実習中止とする。
 4. 遅刻は欠席扱いとする(他の学生のグループ学習の妨げとなるため)。

《担当者名》 巻 康弘 maki@hoku-iryo-u.ac.jp 奥田 かおり 宮本 雅央 近藤 尚也 片山 寛信

【概要】

ソーシャルワーク演習 ・ ・ での学びを統合し、ソーシャルワーク実践を形成する要素としてのソーシャルワークの価値、人間と環境、地域社会の把握と理解、ソーシャルワーク実践アプローチ、実践技法に関する知識とスキルについて、演習を通して学ぶ科目である。

【学修目標】

1. 模擬事例をもとに、ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、援助関係を基礎とした専門的援助技術を実践することができる。
2. 模擬事例をもとに、支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援を検討することができる。
3. 地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組み・方法を説明できる。
4. ミクロ・メソ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチの必要性について説明することができる。
5. 実習体験事例に関する事例研究を用いて、ソーシャルワークの価値規範を踏まえた倫理的な判断ができる。
6. 実践の質の向上を図るためのスーパービジョンを求めることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション/複合的課題を抱える事例への支援とアウトリーチ(Aクラス)	・ソーシャルワーク演習 の展開方法が説明できる。 ・ソーシャルワーク実習との連動が説明できる。 ・アセスメント報告事例をもとに、ソーシャルワークが向ける関心を列挙できる。	巻、片山
	オリエンテーション/複合的課題を抱える事例への支援とアウトリーチ(Bクラス)	・ソーシャルワーク演習 の展開方法が説明できる。 ・ソーシャルワーク実習との連動が説明できる。 ・アセスメント報告事例をもとに、ソーシャルワークが向ける関心を列挙できる。	宮本
	オリエンテーション/複合的課題を抱える事例への支援とアウトリーチ(Cクラス)	・ソーシャルワーク演習 の展開方法が説明できる。 ・ソーシャルワーク実習との連動が説明できる。 ・アセスメント報告事例をもとに、ソーシャルワークが向ける関心を列挙できる。	近藤
2	複合的課題を抱える事例への支援とアウトリーチ(Aクラス)	・複合的課題を抱える事例に対し、社会的排除の構造に着目し、アウトリーチなどのソーシャルワーカーの行動や価値・視点を考察することができる。	巻、片山
	複合的課題を抱える事例への支援とアウトリーチ(Bクラス)	・複合的課題を抱える事例に対し、社会的排除の構造に着目し、アウトリーチなどのソーシャルワーカーの行動や価値・視点を考察することができる。	宮本
	複合的課題を抱える事例への支援とアウトリーチ(Cクラス)	・複合的課題を抱える事例に対し、社会的排除の構造に着目し、アウトリーチなどのソーシャルワーカーの行動や価値・視点を考察することができる。	近藤
3	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント (Aクラス)	・事例の主観的ニーズを把握することができる。 ・人(Bio-Psycho-Socialモデル)と環境の枠組みで情報の整理・統合化ができる。	巻、片山
	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント (Bクラス)	・事例の主観的ニーズを把握することができる。 ・人(Bio-Psycho-Socialモデル)と環境の枠組みで情報の整理・統合化ができる。	宮本
	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント (Cクラス)	・事例の主観的ニーズを把握することができる。 ・人(Bio-Psycho-Socialモデル)と環境の枠組みで情	近藤

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		報の整理・統合化ができる。	
4	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント (Aクラス)	<ul style="list-style-type: none"> 事例の現状を踏まえ、問題把握とストレングスの指摘ができる。 客観的ニーズ判断ができる。 当面の援助目標と必要情報(不足情報)へのアクセス方法を設定できる。 	巻、片山
	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント (Bクラス)	<ul style="list-style-type: none"> 事例の現状を踏まえ、問題把握とストレングスの指摘ができる。 客観的ニーズ判断ができる。 当面の援助目標と必要情報(不足情報)へのアクセス方法を設定できる。 	宮本
	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント (Cクラス)	<ul style="list-style-type: none"> 事例の現状を踏まえ、問題把握とストレングスの指摘ができる。 客観的ニーズ判断ができる。 当面の援助目標と必要情報(不足情報)へのアクセス方法を設定できる。 	近藤
5	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント (Aクラス)	<ul style="list-style-type: none"> アセスメント報告のポイントを列挙できる。 模擬カンファレンスで他職種に報告できる。 判断根拠を説明することができる。 	巻、片山
	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント (Bクラス)	<ul style="list-style-type: none"> アセスメント報告のポイントを列挙できる。 模擬カンファレンスで他職種に報告できる。 判断根拠を説明することができる。 	宮本
	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント (Cクラス)	<ul style="list-style-type: none"> アセスメント報告のポイントを列挙できる。 模擬カンファレンスで他職種に報告できる。 判断根拠を説明することができる。 	近藤
6 7	面接 (Aクラス)	<ul style="list-style-type: none"> 模擬クライアントと面接を行うことができる。 面接で活用された面接技術について説明できる。 	巻、片山
	面接 (Bクラス)	<ul style="list-style-type: none"> 模擬クライアントと面接を行うことができる。 面接で活用された面接技術について説明できる。 	宮本
	面接 (Cクラス)	<ul style="list-style-type: none"> 模擬クライアントと面接を行うことができる。 面接で活用された面接技術について説明できる。 	近藤
8	実習経験と記録 (プロセスレコード) (Aクラス)	<ul style="list-style-type: none"> プロセスレコードの目的と方法が説明できる。 体験をプロセスレコードにまとめることができる。 自己と他者の対話の記載ポイントを説明できる。 	巻、片山
	実習経験と記録 (プロセスレコード) (Bクラス)	<ul style="list-style-type: none"> プロセスレコードの目的と方法が説明できる。 体験をプロセスレコードにまとめることができる。 自己と他者の対話の記載ポイントを説明できる。 	宮本
	実習経験と記録 (プロセスレコード) (Cクラス)	<ul style="list-style-type: none"> プロセスレコードの目的と方法が説明できる。 体験をプロセスレコードにまとめることができる。 自己と他者の対話の記載ポイントを説明できる。 	近藤
9 10	クライアントの気になっているところから始める (Aクラス)	<ul style="list-style-type: none"> クライアントが気になっている課題を知る。 課題解決アプローチを模擬的に実践できる。 	巻、片山
	クライアントの気になっているところから始める (Bクラス)	<ul style="list-style-type: none"> クライアントが気になっている課題を知る。 課題解決アプローチを模擬的に実践できる。 	宮本
	クライアントの気になっているところから始める (Cクラス)	<ul style="list-style-type: none"> クライアントが気になっている課題を知る。 課題解決アプローチを模擬的に実践できる。 	近藤
11	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント (地域包括ケア演習) (Aクラス)	<ul style="list-style-type: none"> クライアントの変化を捉えた情報の整理ができる。 変化した状況を踏まえた情報の統合化ができる。 	巻、片山
	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント (地域包括ケア演習) (Bクラス)	<ul style="list-style-type: none"> クライアントの変化を捉えた情報の整理ができる。 変化した状況を踏まえた情報の統合化ができる。 	宮本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント（地域包括ケア演習）（Cクラス）	<ul style="list-style-type: none"> ・クライアントの変化を捉えた情報の整理ができる。 ・変化した状況を踏まえた情報の統合化ができる。 	近藤
(補講)	面接・アセスメント・記録技法	<ul style="list-style-type: none"> ・面接を進めることができる。 ・アセスメントができる。 ・実習日誌が記載できる。 (OSCE不合格者に対する演習担当教員からの再指導)	巻、宮本、近藤、片山
12 13	OSCEリフレクティング	<ul style="list-style-type: none"> ・リフレクティングについて概説できる。 ・外的会話と内的会話を意識することができる。 ・リフレクティングプロセスに取り組むことができる。 	奥田、巻、宮本、近藤、片山
14	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント（地域包括ケア演習）（Aクラス）	<ul style="list-style-type: none"> ・主観的ニーズの背景にある社会的側面(家庭内・地域社会での役割、近隣や会社での人間関係)を説明することができる。 ・クライアントの環境、社会環境を説明できる。 ・事例情報に対する分析・判断ができる。 	巻、片山
	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント（地域包括ケア演習）（Bクラス）	<ul style="list-style-type: none"> ・主観的ニーズの背景にある社会的側面(家庭内・地域社会での役割、近隣や会社での人間関係)を説明することができる。 ・クライアントの環境、社会環境を説明できる。 ・事例情報に対する分析・判断ができる。 	宮本
	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント（地域包括ケア演習）（Cクラス）	<ul style="list-style-type: none"> ・主観的ニーズの背景にある社会的側面(家庭内・地域社会での役割、近隣や会社での人間関係)を説明することができる。 ・クライアントの環境、社会環境を説明できる。 ・事例情報に対する分析・判断ができる。 	近藤
15	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント（地域包括ケア演習）（Aクラス）	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークでの訪問先を説明できる。 ・問題点の指摘、客観的ニーズ判断ができる。 ・不足情報が説明できる。 ・地域資源（関係者）への質問内容を検討することができる。 ・フィールドワークで着目するポイントを列挙することができる。 	巻、片山
	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント（地域包括ケア演習）（Bクラス）	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークでの訪問先を説明できる。 ・問題点の指摘、客観的ニーズ判断ができる。 ・不足情報が説明できる。 ・地域資源（関係者）への質問内容を検討することができる。 ・フィールドワークで着目するポイントを列挙することができる。 	宮本
	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント（地域包括ケア演習）（Cクラス）	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークでの訪問先を説明できる。 ・問題点の指摘、客観的ニーズ判断ができる。 ・不足情報が説明できる。 ・地域資源（関係者）への質問内容を検討することができる。 ・フィールドワークで着目するポイントを列挙することができる。 	近藤
16	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント（地域包括ケア演習）（Aクラス）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で継続的な生活の実現に向けた検討を行うことができる ・必要となる地域環境に関する情報を列挙することができる。 ・地域で生活する上で必要となる資源を列挙することができる。 	巻、片山
	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント（地域包括ケア演習）（Bクラス）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で継続的な生活の実現に向けた検討を行うことができる ・必要となる地域環境に関する情報を列挙することができる。 ・地域で生活する上で必要となる資源を列挙すること 	宮本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		ができる。	
	総合的かつ包括的な支援におけるアセスメント（地域包括ケア演習）(Cクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で継続的な生活の実現に向けた検討を行うことができる ・必要となる地域環境に関する情報を列挙することができる。 ・地域で生活する上で必要となる資源を列挙することができる。 	近藤
17	グループワーク (地域包括ケア演習)(Aクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源（関係者）への聴き取りを想定したソーシャルスキルトレーニングに取り組むことができる。 	巻、片山
	グループワーク (地域包括ケア演習)(Bクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源（関係者）への聴き取りを想定したソーシャルスキルトレーニングに取り組むことができる。 	宮本
	グループワーク (地域包括ケア演習)(Cクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源（関係者）への聴き取りを想定したソーシャルスキルトレーニングに取り組むことができる。 	近藤
18	地域環境と地域資源の実践的理解 (地域包括ケア演習)(Aクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・クライアントの生活を想定し、地域の周辺環境を自ら歩き、地域のストレンクスと課題を説明することができる。 	巻、片山
	地域環境と地域資源の実践的理解 (地域包括ケア演習)(Bクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・クライアントの生活を想定し、地域の周辺環境を自ら歩き、地域のストレンクスと課題を説明することができる。 	宮本
	地域環境と地域資源の実践的理解 (地域包括ケア演習)(Cクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・クライアントの生活を想定し、地域の周辺環境を自ら歩き、地域のストレンクスと課題を説明することができる。 	近藤
19	分野横断的な総合的・包括的な支援 (地域包括ケア演習)(Aクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク結果を踏まえ、地域資源・関係者の役割、模擬事例に対する本資源の活用可能性を具体化できる。 ・地域環境の現状を可視化(エコマップ作成等)することができる。 	巻、片山
	分野横断的な総合的・包括的な支援 (地域包括ケア演習)(Bクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク結果を踏まえ、地域資源・関係者の役割、模擬事例に対する本資源の活用可能性を具体化できる。 ・地域環境の現状を可視化(エコマップ作成等)することができる。 	宮本
	分野横断的な総合的・包括的な支援 (地域包括ケア演習)(Cクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク結果を踏まえ、地域資源・関係者の役割、模擬事例に対する本資源の活用可能性を具体化できる。 ・地域環境の現状を可視化(エコマップ作成等)することができる。 	近藤
20	分野横断的な連携と協働（地域包括ケア演習）(Aクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク体験を踏まえ、地域課題として気づいた点や所感をまとめることができる。 ・訪問先の異なる学生に示すための資料を作成することができる。 	巻、片山
	分野横断的な連携と協働（地域包括ケア演習）(Bクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク体験を踏まえ、地域課題として気づいた点や所感をまとめることができる。 ・訪問先の異なる学生に示すための資料を作成することができる。 	宮本
	分野横断的な連携と協働（地域包括ケア演習）(Cクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク体験を踏まえ、地域課題として気づいた点や所感をまとめることができる。 ・訪問先の異なる学生に示すための資料を作成することができる。 	近藤
21	実践を記録する(Aクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク実践現場における記録技法を実践することができる。 	巻、片山
	実践を記録する(Bクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク実践現場における記録技法を実践することができる。 	宮本
	実践を記録する(Cクラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク実践現場における記録技法を実践することができる。 	近藤

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
22	リフレクティング	・リフレクティングワークに取り組むことができる。	奥田、巻、宮本、近藤、片山
23	実習体験を踏まえたスーパービジョン(Aクラス)	・スーパービジョンにおいてスーパーバイザーの役割を担うことができる。 ・ピアスーパービジョンを通じて、ソーシャルワーク支援について考察することができる。	巻、片山
	実習体験を踏まえたスーパービジョン(Bクラス)	・スーパービジョンにおいてスーパーバイザーの役割を担うことができる。 ・ピアスーパービジョンを通じて、ソーシャルワーク支援について考察することができる。	宮本
	実習体験を踏まえたスーパービジョン(Cクラス)	・スーパービジョンにおいてスーパーバイザーの役割を担うことができる。 ・ピアスーパービジョンを通じて、ソーシャルワーク支援について考察することができる。	近藤
24	地域のニーズに対応したサービス・事業開発 (Aクラス)	・社会福祉士の立場から模擬事例が示す地域の状況と課題認識が説明できる。 ・どこに相談したら良いかわからないニーズをキャッチすることが出来る。 ・地域内にある他のニーズとのつながりを検討することが出来る。	巻、片山
	地域のニーズに対応したサービス・事業開発 (Bクラス)	・社会福祉士の立場から模擬事例が示す地域の状況と課題認識が説明できる。 ・どこに相談したら良いかわからないニーズをキャッチすることが出来る。 ・地域内にある他のニーズとのつながりを検討することが出来る。	宮本
	地域のニーズに対応したサービス・事業開発 (Cクラス)	・社会福祉士の立場から模擬事例が示す地域の状況と課題認識が説明できる。 ・どこに相談したら良いかわからないニーズをキャッチすることが出来る。 ・地域内にある他のニーズとのつながりを検討することが出来る。	近藤
25	地域のニーズに対応したサービス・事業開発 (Aクラス)	・地域のニーズに対応したサービス・事業開発に向け検討できる。 ・地域の関係者、地域集団、関係機関を例示し、地域の関係者が課題認識を共有するための方策(事業提案含む)を例示できる。 ・チームメンバーのストレングスを指摘できる。 ・住民と分野横断的な地域関係者の組織化の方策を検討することが出来る。	巻、片山
	地域のニーズに対応したサービス・事業開発 (Bクラス)	・地域のニーズに対応したサービス・事業開発に向け検討できる。 ・地域の関係者、地域集団、関係機関を例示し、地域の関係者が課題認識を共有するための方策(事業提案含む)を例示できる。 ・チームメンバーのストレングスを指摘できる。 ・住民と分野横断的な地域関係者の組織化の方策を検討することが出来る。	宮本
	地域のニーズに対応したサービス・事業開発 (Cクラス)	・地域のニーズに対応したサービス・事業開発に向け検討できる。 ・地域の関係者、地域集団、関係機関を例示し、地域の関係者が課題認識を共有するための方策(事業提案含む)を例示できる。 ・チームメンバーのストレングスを指摘できる。 ・住民と分野横断的な地域関係者の組織化の方策を検討することが出来る。	近藤
26	プロセスレコード	・プロセスレコードをもとに、利用者との関係における自己の思考を説明することができる。	奥田、巻

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・自己の思考傾向を踏まえて、自己活用できる。	
27) 28	個別・地域ニーズに対応したソーシャルワーク介入(Aクラス)	・解消・解決が必要と考えた生活課題・地域課題を説明できる。 ・提示された課題に対する対応策等を検討できる。 ・ソーシャルワークアクションの可能性が検討できる。	巻、片山
	個別・地域ニーズに対応したソーシャルワーク介入(Bクラス)	・解消・解決が必要と考えた生活課題・地域課題を説明できる。 ・提示された課題に対する対応策等を検討できる。 ・ソーシャルワークアクションの可能性が検討できる。	宮本
	個別・地域ニーズに対応したソーシャルワーク介入(Cクラス)	・解消・解決が必要と考えた生活課題・地域課題を説明できる。 ・提示された課題に対する対応策等を検討できる。 ・ソーシャルワークアクションの可能性が検討できる。	近藤
29	聴くことの出来る力の実践(Aクラス)	・模擬面接を通じて、クライアントの主訴から背景にあるものを推察することができる。 ・模擬面接での行為を省察し、実習前OSCE経験からの成長点を述べる事ができる。	巻、片山
	聴くことの出来る力の実践(Bクラス)	・模擬面接を通じて、クライアントの主訴から背景にあるものを推察することができる。 ・模擬面接での行為を省察し、実習前OSCE経験からの成長点を述べる事ができる。	宮本
	聴くことの出来る力の実践(Cクラス)	・模擬面接を通じて、クライアントの主訴から背景にあるものを推察することができる。 ・模擬面接での行為を省察し、実習前OSCE経験からの成長点を述べる事ができる。	近藤
30	人権感覚と実践能力 (演習まとめ)(Aクラス)	・人権感覚を有するソーシャルワーカーの役割と実践能力について自らの考えを述べる事ができる。 ・3年間のソーシャルワーク演習で習得した成果が説明できる。	巻、片山
	人権感覚と実践能力 (演習まとめ)(Bクラス)	・人権感覚を有するソーシャルワーカーの役割と実践能力について自らの考えを述べる事ができる。 ・3年間のソーシャルワーク演習で習得した成果が説明できる。	宮本
	人権感覚と実践能力 (演習まとめ)(Cクラス)	・人権感覚を有するソーシャルワーカーの役割と実践能力について自らの考えを述べる事ができる。 ・3年間のソーシャルワーク演習で習得した成果が説明できる。	近藤

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

レポート50%、授業への主体的参加度50%。

【教科書】

フェリックス・P. バイステック,尾崎 新・原田 和幸・福田 俊子(訳)『ケースワークの原則(新訳改訂版)』誠信書房
一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『ソーシャルワーク演習 社会専門』中央法規
鳶末恵子・小嶋章吾(2020)『医療・福祉の質が高まる生活支援記録法 F-SOAIIP 多職種の実践を可視化する新しい経過記録』中央法規.

【参考書】

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『ソーシャルワーク演習 共通科目』中央法規
八木亜紀子『相談援助職の「伝わる記録」』中央法規

【備考】

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「ソーシャルワーク演習（専門）」に該当する。

【学修の準備】

- 1．演習で取り上げる事例を読み、社会的背景や要因、専門用語などを調べ準備しておくこと。（予習30分）
- 2．演習で取り組んだ事例に対する実践例など、インターネット等を活用し調べて、まとめること。（復習30分）
- 3．講義・実習指導での学習内容との関連状況を説明できるようにすること。（予習復習1時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2: 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP3: 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

巻 康弘(社会福祉士) 宮本 雅央(社会福祉士・精神保健福祉士) 奥田 かおり(ソーシャルワーカー) 近藤 尚也(社会福祉士) 片山 寛信(社会福祉士)。

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関、社会福祉施設・機関でのソーシャルワーカー（社会福祉士）としての実践経験を通じて得た、価値・知識・技術を活用し、実践的教育を行う。